

エレベーター用インターホン

E - 01SV

インターホン親機 取扱説明書

1. 概要

- 1. 本機は、カゴ内にインタホン子機、エレベータ機械室、管理室等に親機（6V）を設置し、非常時又は保守調整時に、親子間の連絡に用いるものです。
また、付加機能として、外部設備内構成の無電圧 a 接点信号の入力により、表示灯を点灯させる事ができます。
- 2. 本機はハンドセットによる同時通話です。
- 3. 通話は、子機 1 台に対し親機 1 台が原則です。

2. 取り扱い方法

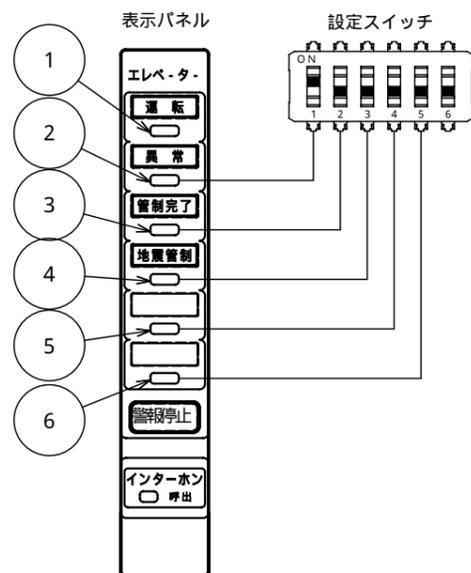
- 1. 子機が呼出ボタンを押しますと接続されている親機の呼出表示灯が点灯しハンドセットを取り上げるとブザーは鳴り止め通話開始となります。
(通話中でも、呼出し表示灯は子機で呼び出しボタンを押している間は点灯します。)
- 2. "異常" 表示灯などが点灯すると同時に警報ブザーが鳴動します。
鳴動を止めたい場合は、警報停止スイッチを押すと鳴りやみます。
(表示灯は信号の入力が解除されるまで点灯したままとなります。)
(警報ブザーと呼出ブザーは同じ音色です。)
- 3. 裏面の差し込み端子台の "HC/HA" はフックアップ（ハンドセット取上げ）接点です。
ハンドセットを取り上げますと、フックスイッチと連動して、メーク接点を出力し、ハンドセットを戻しますと、接点出力がなくなります。
"BRA/BRC/BRB" は警報リセット接点です。
警報停止スイッチを押している間のみ、"BRA/BRC" 間にメーク接点を出力し
平常時及び警報停止スイッチを離すと "BRC/BRB" 間にブレーク接点を出力します。
- 4. 裏面のディップスイッチは、警報ブザー鳴動設定スイッチです。
どの表示灯で警報ブザーを鳴動させるかを設定します。

3. ディップスイッチ設定

本装置はディップスイッチにより、どの表示灯で警報ブザーを鳴動させるか設定を行うことができます。

- 1. ディップスイッチ設定方法

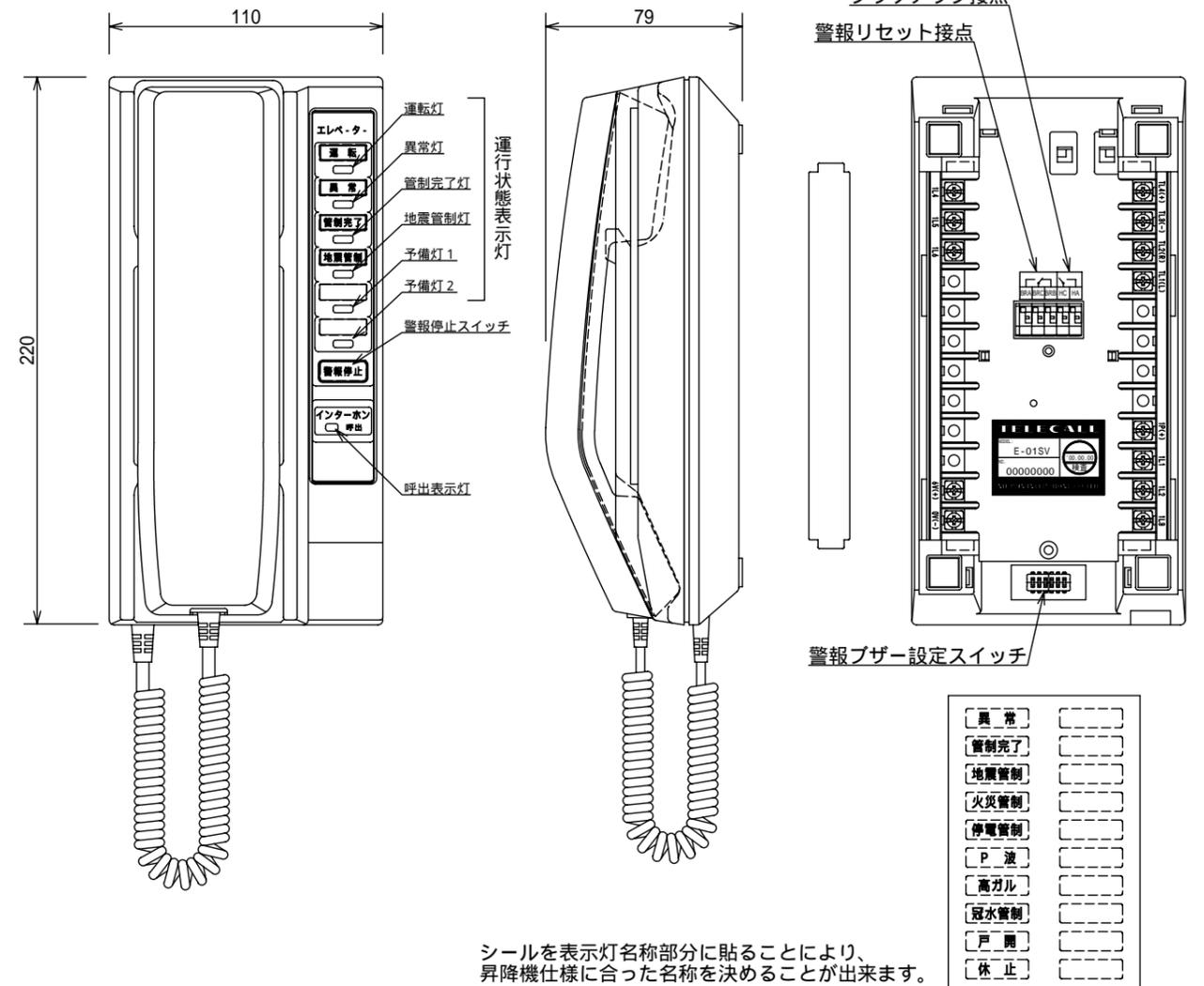
本装置のディップスイッチは下図のように各スイッチを ON 側又は OFF 側に動かすことによって設定できます。



スイッチ番号	スイッチ ON 時の動作内容	備考
1	にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。	出荷時設定済
2	にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。	
3	にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。	
4	にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。	
5	にステータス信号が入ると警報ブザーが鳴動します。	
6	本機では使用しません。	

は、鳴動設定できません

4. 外形図



シールを表示灯名称部分に貼ることにより、昇降機仕様に合った名称を決めることができます。

表示灯名称シール（付属品）

5. 機器間結線図

